



成人期活動・やったあー

文化、スポーツへの積極的な参加により、自らが地域の役割を自覚するようにする。

(五) 高齢期

各人の健康管理、友人、グループとのつながり、孫の教育、高齢者としての役割の自覚と自己の生涯をみつめ、生きがいのある生活をする。

四 事業計画(布藤地区)

(一) 乳幼児期

・あそびの中の生活(六・八・十二月)

・幼児と読書(六・九・一月)

・幼児食講習会(十二月)

(二) 幼少年期

・親子ソフト大会(五月)

・少年消防団活動(四月～十二月)

・少年ハイキング(七月)

・エルム施設訪問(五～十一月)

・少年宿泊訓練(八月)

・ソフト練習会(四～十一月)

・恵日寺清掃(八月)

・寺、神社清掃、更科駅、墓地清掃

・掃お年寄と共に(五～十月)

・交通安全教室およびドライバームけの安全運動(九～十月)

・農繁期の手伝い(九～十月)

・クリスマスの手伝い(十二月)

・親子スキー教室(一～二月)

・少年とお年寄のつどい(十一月)

・お別れ会(三月)

(三) 青年期

・青年と婦人のつどい(四月)

・青年と少年のつどい(九～十月)

(四) 成人期

・地区行事の計画(四月～十月)

・研修旅行(七月)

・火伏祭の企画(二月)

・家庭バレーボール(五～十一月)

・地区ソフト大会(六月)

・子どもとの座談会(六月)

・郷土史講座(一月)

・婦人と家庭教育(二月)

・社交、ジャズダンス(十一月～二月)

(五) 高齢期

・地区緑化運動(四～六月)

・寺、神社、更科駅、墓地清掃、子どもと共に(五～十月)

・ゲートボール講習・大会(六月～七月)



高齢期活動・若さいっぱい

・手芸、娯楽、民謡(一～三月)

・伝承あそび(十二月～三月)

(子どもと共に)

以上代表的なもので、地区全体の行事として、地区運動会、各期における講演会、火伏祭と多くの行事を実施している。行事の実施にあたっては、月のはじめに運営委員会を開き、前月の反省、来月の計画、広報「生涯学習ふとろ」を発行している

五 事業実施上の留意点

(一) 無理にならず、しかも町行事とちが合わないよう十分配慮している

(二) 一部の指導者だけに負担をかけるよう常に配慮している

(三) 青少年健全育成を柱に実践しているので、地区住民全体の役割分担を明確にしている。

(四) 広報活動をとおして、事業の評価を行ない次の活動に生かし、生涯教育の重要性について理解を得るよう配慮している。

まとめ
生涯を通じて豊かな教養と経験を身につけ、明るく豊かな地域づくりをめざすことは、町全体の地域に波及し、生涯学習が定着することは、町政の主題である「明るく住みよい豊かな磐梯町」づくりに貢献できるものと考えられる。行政の指導援助のもとに今後の布藤地区の活動に期待したい。

(社会教育主事・加藤昭二)